



脳ドックの重要性などについて説明した林医師

「脳ドック健診活用を」

重要性や検査内容解説

製鉄記念室蘭病院
市民健康セミナー

製鉄記念室蘭病院（松木高雪病院長）の「第16回市民健康セミナー」が19日、室蘭市知利別町の同病院で開かれた。脳梗塞や脳出血、くも膜下出

血など脳卒中の症状について説明し、脳ドックによる病気の早期発見を促した。

一般市民向けの恒例の健康講座。今回のテーマは「脳ドックで健康な生活」。脳神経外科長の林征志医師が講師を務め、脳ドックで行う検査の内容とその重要性などについて解説した。

林医師は、脳ドックでは磁気共鳴画像装置（MRI）を使った検査を行い、脳の健康状態を知ることができると話し、「脳梗塞や脳腫瘍、脳動脈瘤の発見につながる。異常の早期発見のために脳ドックを活用してほしい」と呼び掛けた。

同病院では毎週火、金曜日の午後3時から脳ドック健診を行っている。

料金は2万5千～3万5千円（税別）。問い合わせは同病院医事課、電話番号0143・44局4650番へ。
（高橋紀孝）